

～繰り返してで習慣化～

学校だより

かわらなでしこ

発行
仲里幼・小学校
平成29年
5月12日
第4号

球美中ブロック 具体的な取組事項

本校では、県や町の主要施策を受け、今年度の学習の重点として、「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「たくましい体の育成」の三つの柱を掲げ取組を進めているところです。このような力をバランス良く育むためには生活や学習において習慣化を図ることが重要だと言われています。本校においては、前年度に引き続き、学習規律に関する力を育む「仲小ラッキー7」や望ましい人間関係力を育む支持的風土のある学級経営、健康・安全に関する意識の向上と実践力を育む、体験的な活動などの三つの柱にかかる具体的な取組を、生活との関連や、生活の一部として実践することで習慣化が図られるよう推進して参りたいと考えています。特に学習に関する事項や人間関係に関する具体的な事項、教育主要施策や三つの柱を支える重要な取組として球美中学校ブロック（美崎小・久米島小・球美中・本校）の各事項に位置づけ共通の教育活動として展開しているところです。

地域で目指す教育の方向性を確認し、地域、家庭、学校が連携してそれぞれが担う取組を日常的なことから繰り返すことで生活の中で定着し、基本的な生活習慣や学習習慣として形成されていくこととなります。子ども達の発達段階や個々の状況に応じて、取組の内容や方法等の若干の違いはありますが、目指す方向をしっかりと見定め、根気強く取り組むことが重要であることを互いに確認し、取組を進めたいものです。子ども達の日々の生活において、具体的な取り組みが繰り返して実践され生活化していきますよう密な連携のもと取組を進めていきますよう。よろしくお願いいたします。

夏 本番

新聞活用でグローバル時代に対応

学習指導要領解説書には「21世紀は新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域で飛躍的に重要性を増す『知識基盤社会』の時代」と規定し、激しい変化とグローバル化の時代を担う子どもたちの「生きる力」をはぐくむこととしています。また、国際的な諸調査結果にも触れ、児童生徒に読解力や記述式問題、知識・技能を活用する能力、学習意欲・習慣に課題がある等を示しています。

このような時代の要請等を受け、学習指導要領には学習の一つとして新聞等の活用が示されています。

「新聞の特性である一覧性・俯瞰性・解説性・詳細性・記録性・携帯性・保存性などを活用して「今」を取り入れる教育であり、知識基盤社会での教育を先取りして創意工夫に満ちた教育活動」としてしています。（教育に新聞を）

小学校学習指導要領（国語）では、新聞活用について、学級新聞に関する事項（中学年）、新聞編集、記事の書き方や読み方、（高学年）などを言語活動例として具体的に示されています。教科書等に示されている学習内容をさらに新聞等の多様なテキストと関連づけて活用するなど効果的な指導を工夫することなどが求められています。児童の日常的な事象を新聞から教材化すること等私達の生活との関連から考えさせることにより、時代を見通した力を育むことに繋がると考えています。

<http://nie.jp/study/>

梅雨入りを間近に控え、暑さとともに光が眩しく、木々は一段と色濃く変化しています。本県は、季節の移り変わりがはっきりしないと言われていたますが、梅雨は、本格的な夏を迎える年中行事、季節の移り変わりを感ぜさせてくれます。これから約一ヶ月間は、ジメジメした日が続きます、くれぐれも体調管理には気を付けたいものです。



体育朝会
集団行動もバッチリ、先生の話も聞いて機敏に行動